

主は、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。
(ペテロの手紙第二3章9節)

十 JESUS JUNE FESTIVAL 2026

6月29日

開場 午後 6:30 開演 午後 7:00

参加費無料 但し、席上献金あり

The time has
come

日本の時
が来た

講演題

ヘブライズムが 世界を救う

世界中が困窮している今こそリバイバルが起ころうとしている。
集まって、リバイバルに備えよう!



講師 川端 光生

1954年京都府綾部市生まれ。大学でキリスト教実存哲学、米国トリニティ神学校で弁証論を学ぶ。2002年、ブリッジス・フォー・ピース(BFP)の局長を通して「イスラエル」と出会う。2003年東京東村山市にキリストの栄光教会を開拓。2024年長野県佐久市に佐久キリストの栄光教会を開拓。「あかしあの木出版」「YORIAL」主宰。佐久市の牧会とともに、「聖書の三つのテーマ」「ヘブライズム」「イスラエル」に人生の残りを捧げる。

会場 東京中央教会 地下聖殿 東京都新宿区大久保2丁目18-8

お問合せ 090-6194-3011 sgr_ch@ybb.ne.jp (菅野)

アクセス ●東京メトロ/副都心線・東新宿駅 徒歩5分 ●西武新宿線・西武新宿駅(北口) 徒歩9分
●JR山手線・新大久保駅 徒歩7分 ●JR総武線・大久保駅 徒歩11分

会場へのアクセス

東京中央教会 地下聖殿



主催 日本民族総福音化運動協議会 ジーザス・ジューン・フェスティバル実行委員会 | 実行委員長: 菅野 直基

＋JESUS JUNE FESTIVAL 2026

ヘブライズムが世界を救う

ヘブライズムとは、「創造主を万物の基準とする」ことです。その対立項は「人間を万物の基準とする」です。

今日の世界の悲劇をもたらしている根源は、ヘレニズムにあります。人間の経験、感情、理性を基盤にして、世界観、価値観、倫理観を作り上げていきます。人間の経験、感情、理性は不完全なので、歪んだ世界観、価値観、倫理観になってしまいます。また、人間は一人ではないので、人間の数ほど世界観、価値観、倫理観が生まれます。士師記21章25節のような状態です。問題は、聖書をヘレニズム的にとらえることです。自分の経験と理屈に合わせて、聖書を説きます。神学が自由主義になり、クリスチャンが個人主義、多元主義になるのは当然です。その結果、西欧の教会はゾンビになり、日本の教会も絶滅危惧種に数えられるようになりました。イスラエルのことも、人間の基準で語られます。教会においてさえ、反ユダヤ主義になるのは当然の道筋です。

ヘレニズムのすべてを否定はしませんし、経験、感情、理性を用いることはあっても、それは、道具であって、土台ではありません。

土台となるのは、創造主であり、父、子、聖霊です。聖書の言葉が、自分の経験、感情、理性に合わないからと言って退けることはせず、自分の目には矛盾しているようでも、御言葉は御言葉として従います。イスラエルは、永遠の契約によって、聖なる主の民、祭司の王国であることは不変です。私は、主を愛するので、主が永遠の愛で愛されるイスラエルを、自分の理屈抜きで愛します。今のユダヤ人がどうであれ、愛します。それは、日本の教会がどうであれ、愛し、日本と日本人がどうであれ、愛するのと同じです。

すべて創造主を基準として理解します。創造主は唯一なので、創造主を基準にするなら、一つになります。一つになれる唯一の道です。

ヘブライズムに戻ることで、これが欧米のヘレニズム神学中心のキリスト教会における第二の宗教改革になると信じます。

